

- アレルギー対策で発作を予防●
- 小児ぜんそくのアレルゲンのうち、発作の引き金となる頻度が高いのはホコリやダニです。室内はフローリングにして、ホコリをたまりにくくするのが理想的ですが、どうしても取り除けないジュエタンには週に一度じっくり掃除機をかけましょう。その他の掃除や換気、カーテンの洗濯はこまめに行いましょう。布団を干した後は、掃除機でダニの死骸を吸い取ります。また、ペットの毛やフケもアレルギーとなるので、ペットの飼育は避けたいほうがよいでしょう。
- スギなどの花粉、ガ、ゴキブリがアレルギーとなる可能性もあります。

ぜんそくのアレルゲン特定などに下記セットをご利用ください。

 鼻炎喘息スクリーニング
 動物マルチ・ヒノキ・ハウスダスト1・ダニ1・ブタクサ
 スギ・カモガヤ・カンジタ・アスペルギルス・アルテルナリア
 ヨモギ・ガ・ゴキブリ・IgE RIST

検査材料 : 全血6ml
 保険点数 : 1530点

2 感染症トピックス：ノロウイルスにご注意を

- ノロウイルスとは
1. ノロウイルス
 - ・ 小型球形ウイルス（SRSV）の一種で、従来ノーウォーク様ウイルスと呼ばれていたが2002年に国際ウイルス学会で新たに命名された。
 - ・ 大きさは0.03μm。
 - ・ 特に冬季に感染性下痢嘔吐症をおこす原因ウイルス。
 - ・ ヒトの小腸上部で感染・増殖し糞便に大量にウイルスを排出する。
 - ・ 食品中では増殖しない。
 2. 感染経路
 - ・ 生カキなどの汚染された食物や、水を加熱しないで飲食することにより感染。
 - ・ 感染した調理者の手指を介した食品、食器などの汚染。
 - ・ ウイルスを含む便や吐物の飛沫が口に入る、便や吐物で汚染された者に触れた手を介する糞口感染。
 - ・ 感染力が強く100個程度でも発症する。
 - ・ 患者、職員の両方に集団感染を起こす。
 - ・ 医療施設での伝播経路は接触感染の他、吐物、排泄物の処理の際、発生するエアロゾルの吸入によって起こる二次感染がある。
 3. 症状
 - ・ 潜伏期間は24～48時間。
 - ・ 発症当日は激しい症状を呈す。
 - ・ 嘔吐（多くは噴出性）、下痢、発熱などが突然始まることが多い。
 - ・ 多くは1～3日で回復する。
 4. ウイルスの排出期間
 - ・ 回復後も2週間程度は便に排出される。

検査項目	:	ノロウイルス迅速検査
検査材料	:	便（小指頭大、又は1mL相当量）
実施料	:	収載なし
検査判断料	:	収載なし
検査法	:	イムノクロマト法
所要日数	:	1～2日
基準値	:	(-)

ノロウイルス迅速検査について下記URLもご参照ください。
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2009-1030.pdf>

3 検査項目情報：NT-proBNPについて

< NT-proBNPの有用性 >

- 1、心不全の診断
 - ・BNPと同等の臨床的有用性があり、心機能を鋭敏に反映します。
 - また、腎機能低下に伴い測定値が上昇する傾向も認められており、腎機能障害、透析患者の心血管リスク予測にも有用なマーカーです。
- 2、心不全の重症度の把握
 - ・心不全の重症度を示すNYHA分類と相関性がみられ、心機能による患者の層別化が可能です。
- 3、安定性
 - ・血清でも安定しているため、血清での検査が可能です。
 - ・BNPより安定性が高く、保存検体での追加検査が可能です。
 - ・スクリーニング検査に適しています。

NT-proBNPを用いた循環器健診のフローチャート
<http://www.kml-net.co.jp/topix.htm>

検査項目	:	NT-proBNP
検体量	:	血清0.4ml
保険点数	:	140点
検査判断料	:	生化学検査II
所用日数	:	3~5日
基準値	:	125pg/ml以下

心不全の診断・病態把握にNT-proBNPをお役立てください。

4 インフルエンザ（HI）測定株変更について

インフルエンザ(HI)測定株を本年度インフルエンザ製造株に対応した試薬に変更させていただきます。また、本変更に合わせて報告名称を下記の通り測定株から一般的に広く知られている名称に変更させていただきますのでご案内申し上げます。

	新	旧
報告様式	Aソ連型/H1N1	A/プリズベン
変更	A香港型/H3N2	A/ウルグアイ
	B型	B/フロリダ

※測定株は、Aソ連型：プリズベン、A香港型：ウルグアイ
B型：フロリダです。

詳細につきましては、下記URLをご覧ください。
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2009-1023-2.pdf>

5 KMLインフォメーション 9月～10月分のお知らせ

前回メールニュースを配信しました後から現在までに発行されました「KMLインフォメーション」についてお知らせ致します。

各インフォメーションにつきましては、医院様へ随時お届けしておりますが、ご確認などに活用して頂ければ幸いです。

2009年 9月25日 報告書表記変更のお知らせ
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2009-0925.pdf>

2009年10月23日 インフルエンザ（HI）測定株変更のお知らせ
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2009-1023-2.pdf>

2009年10月23日 検査内容変更のお知らせ
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2009-1023-1.pdf>

2009年10月30日 ノロウイルス迅速検査のお知らせ
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2009-1030.pdf>

■ □ = = = = =



最後までお読み頂きまして有り難う御座いました。

編集／発行 <http://www.kml-net.co.jp/>
株式会社 京浜予防医学研究所
〒211-0042 神奈川県川崎市中原区下新城1-13-15

= = = = = □ ■